

事業所名

児童発達支援 Unité 保育所等訪問支援

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

3月

1日

| | | | | | | |
|-----------|---|--|---|-------|---------|---------|
| 法人(事業所)理念 | 子ども達の将来の自立を支援し、より豊かに社会で暮らしていくために、未就学期の早期療育をすすめています。また、お子さまの発達を支え、ご家族や地域の皆様と共に、より良い未来を創り上げていくことを目指しています。 | | | | | |
| 支援方針 | 「できた」という喜びや、「やってみたい」という希望をたくさん増やしていきます。「目標」と「希望」を持って、広い世界に進んでいけるようにサポートしていきます。 | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 30分から | 15時 | 30分まで | 送迎実施の有無 | あり (なし) |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 生活リズムや日常生活習慣の安定(身辺自立、ADLの獲得)を支援します。 今行うべき事の見通しを立てて、安定した生活習慣が身につけられるようにサポートします。 日常的な様々な動作を自主的に行うことで、できた時の喜びや自信につながるように支援します。 | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動や感覚機能の発達が促進されるようにサポートします。 お子さまの発達段階や感覚的特徴をアセスメントし、過ごしやすい環境や場面の設定を考えていきます。 お子さまを取り巻く関係機関と連携し、情報を共有して統一的な支援を目指します。 | | | | |
| | 認知・行動 | 認知や行動面の発達を支援します。 集団生活の中で、お子さまが活動しやすいように、環境の工夫や課題解決の糸口を所属先の職員の方と相談して進めていきます。 自発的に行動していけるように、お子さまが自分自身で考えて動く力を大切に伸ばしていきます。 | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 言語やコミュニケーションの向上を図ります。 言葉での意思疎通だけでなく、他者とのふれあいや関わりの中で、気持ちが通じる瞬間を大切にします。集団での活動のやり取りや、自らふれあいやかわりを持ちたいという自発的な感情を伸ばしていけるように、関係機関でサポートしていきます。 | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 人間関係や社会性の向上を支援します。 集団の中で、おともだちや先生との信頼関係を自ら築いていけるように支援します。相手に気持ちを伝えることで、分かり合えることの大切さを実感できるようにサポートします。 他者とのつながりや信頼を基に、集団の中での行動の基盤を養っていきます。 | | | | |
| 家族支援 | お子さまの健全な成長のために、家族の不安や心配を軽減できるよう、発達相談や助言などを行います。 お子さまのご様子や成長をともに共有し、ご家族との連携を深め、相談しやすい関係性を作っていきます。 | 移行支援 | 地域の保育や教育を受けられるよう、地域移行支援に力を入れます。保育所等訪問支援事業を行っており、お子さまの所属する保育所などを訪問し、地域の施設との連携を行いお子さまの集団での生活がより良い環境になるよう努めます。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | 地域の施設や関係機関との連携を図り、同世代の子どもたちが共に学び、生活できる環境を整えて行います。 | 職員の質の向上 | 知識やスキルの向上を目指し、研修などを積極的に行います。また、日々の支援業務のこなでも、ケース会議や事例検討などを行い、より良い支援に繋がれるように努力します。 | | | |
| 主な行事等 | 制作活動やお出かけを通じて季節の行事や、文化に触れられるようにします。 たくさんの経験を積むことができるように、様々な活動を取り入れていきます。 | | | | | |